

R7. 浜小学校

KEEP GOING

～見方考え方を動かせた
深い学びの実現～

3年生 国語科の実践「仕事のくふう、見つけたよ」

1. 単元の目標

- 改行のしかたを理解して文や文章の中で使うとともに、句読点を適切に 打つことができる。
【知識及び技能(1)ウ】
- 段落の役割について理解することができる。【知識及び技能(1)カ】
- 「書くこと」において、相手や目的を意識して、集めた材料を比較して書く ことを選び、伝えたいことを明確にすることができます。
【思考力, 判断力, 表現力B(1)ア】
- 「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明 確にして、書き表し方を工夫することができる。
【思考力, 判断力, 表現力B(1)ウ】
- 言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切にして、思 いや考 えを伝え合おうとする。
【学びに向かう力, 人間性等】

2. 実践の内容①「情報収集／インターネット検索」

(1)ICT活用場面

- ・自分の調べたい仕事についてインターネットを使い情報を集める。



(2)ICT活用のねらい・よさ

- ・本やインタビューで得られなかつた情報を得ることができる。
- ・その仕事について色んな人の考え方を知ることができる。

2. 実践の内容②「記述・推敲／ドキュメント」

(1)ICT活用場面

- ・リーフレットをドキュメントで作成する。
- ・書けたものを友達にも読んでもらい推敲のヒントにする。

(2)ICT活用のねらい・よさ

- ・書きながら考え、直すことができるのと、個人思考、協働、思考の再構築をスムーズに行うことができる。
- ・コメント機能でアドバイスをし合うことができる。

※児童のリーフレットの一例

「つぎて」と「しくち」のくぎをつかわないわざの工夫

1. 調べたきっかけや理由

わたしは、どうやってくぎを使わないでくっつけるのか。とそのわざの名前を知りたいと思いました。そこで、そのわざの名前とどうやって使うのかを調べることにしました。

2. 調べ方

インターネットでまずじょうほうを集めて、その後にいろんな動画を見て調べました。

3. 調べて分かったこと

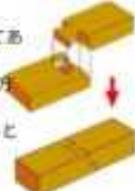
(1) 大工のくぎを使わない木と木をつなげる工夫

大工には、くぎを使わないで木と木をつなげるやり方があるそうです。

「おうちでミュージアム」という動画に、木と木をくぎでうたないやり方があるとかいてありました。「つぎて」というわざと「しくち」というわざがあるそうです。

「つぎて」は、まっすぐつなげる時に使うそうです。木をほってその木を2本ちがうほり方でほるとつなげることができます。(ほりつけがどうでもいい)。

「しくち」は、2つの木を90度につなげる時に使うそうです。90度に木と木をつなげたいときにくぎでうつのはむずかしいという人に使えそうです。

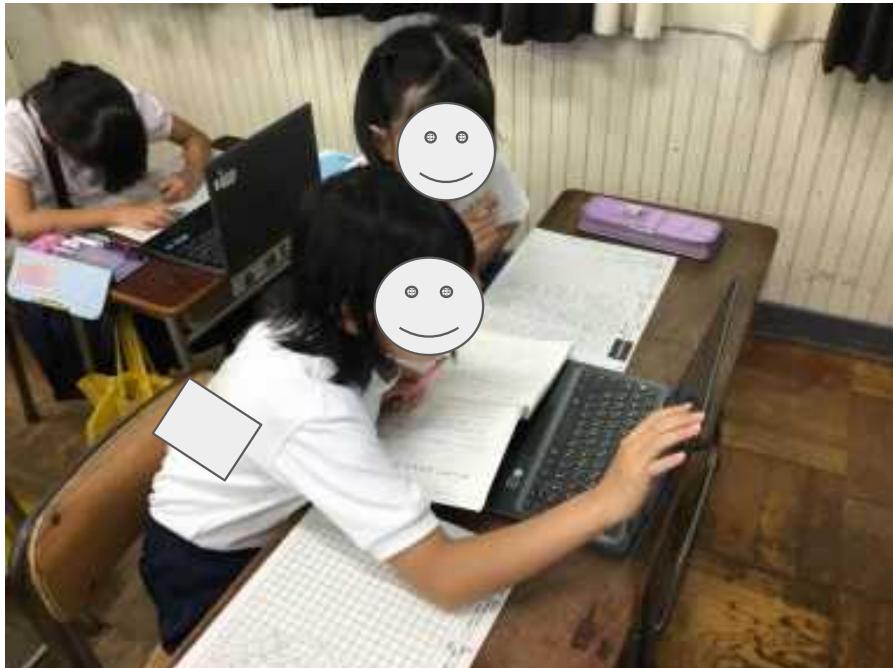


4. まとめ

くぎを使わないで木と木を合体させられることが分かっておどろきました。その中でも「しくち」のわざが90度にくぎを使わないでくっつけることができるのを知りました。わたしが大人になって大工さんになれたらいいろんな道具を使って、「つぎて」と「しくち」を使って家をたててみたいです。

〈使った動画〉「おうちでミュージアム」、竹中大工道具館

3. 児童の様子（成果物の一例 ※記事の一部）



◎児童の成果物の一例

読む人のことを考えて、メモに書いてあることから特に伝えたいことを選び、ドキュメントでまとめた。

丸いも農家の仕事のくふう

1. 調べたきっかけや理由

わたしは、丸いもをつくる農家を見たり、聞いたりしたことがあります。とてもたいへんそうだと思、「どんなくふうがあるのかな」と思いました。そこで、丸いも作りのくふうについて調べることにしました。

2. 調べ方

本やインターネットを使って、丸いも農家について調べました。また、家の人が丸いも農家なので話をうかがいました。

3. 調べて分かったこと

(1) 支柱を立てるときのくふう

「のびゆく能美市」という本に、「支柱を一本一本しっかりとさす」と書いてあったので、まずそのことについて調べました。
丸いも農家は、台風が来ても支柱がたおれないようにするために、一本一本手作業でしっかりさすそうです。

(2) 高品質を売る時のくふう

「岡本豊さん・雅子さん・加賀丸いも」というサイトに「親しみやすいキャラクターやパッケージにも工夫した」と書いてあったので、次にそのことについて調べました。

岡本さんは、若い人たちにもっと気軽に手を取って欲しいという思いから、丸いもを売る時にオリジナルのキャラクターのシールをふくろにはっているそうです。



4. まとめ

ふだん農家の人の気氛なく見ていただけれど、仕事の一つ一つにくふうがあることを知りました。とくに、作ることだけではなく、パッケージもくふうしていることにおどろきました。これからは、ほかのくふうや丸いもいがいの農家のくふうも調べてみたいと思いました。

〈使った本〉「のびゆく能美市」、66ページ

〈使ったサイト〉「岡本豊さん・雅子さん・加賀丸いも」

4. 成果

- ・ Googleの汎用的なアプリケーションと既習のICTスキルを活用して、単元を通して児童が主体的に学びを進めることができた。
- ・ ICT活用により、多くの情報を集め、その中から特に自分が伝えたいものを選ぶことができた。
- ・ 記述や推敲の場面にICTを活用したことで、効率的にリーフレットを書くことができた。

5. 課題

- ・ 児童が集めた情報が膨大で、教師がすべての情報の裏付けを取ることが難しい。